

事業所名

ふわり諫早 児童発達支援センター

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

2月

1日

法人（事業所）理念	「豊かな環境でのびのびと」を基本とし、世界保健機関（WHO）の新しい国際生活機能分類（ICF）および社会福祉法・知的障害者福祉法・障害者総合支援法の理念である利用者本位を使命として、利用者の「自立と生活の質の向上」を目指します。これらの経営理念を分かり易く皆様に伝えるため「こころイキイキ」とテーマに掲げると共に、このテーマをイメージしたシンボルマークで多くの方々に訴求します。				
支援方針	2歳から18歳までを支援する児童発達支援課では「いつも笑顔があふれている子へ」を基本として、「毎日の花まる」「できた」など数多くの成功体験を通じて自分を認め、自信をもって毎日をイキイキと生きる。そんな子どもたちの未来を創る。①自分を大切にできる。②幸せと感じる。③新しいことに挑戦できる。④自分の意思で決める。				
営業時間	9時	30分	14時	30分	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	・手洗いやうがい、着替え、トイレトレーニングなどの生活に必要な基本的な生活習慣が身に付くよう支援します。 ・健康な生活を送れるよう睡眠や食事等の目的を理解できるように取り組みます。構造化等により生活環境を整え、個々に合わせた支援を行います。			
	運動・感覚	・リズム遊び・感覚遊び（トランポリン・ポニースイング・サーキット等）を通して楽しく参加することができるように支援します。 ・マッサージや感覚遊具等を使用し、ポディーイメージの発達やバランスなどの体の使い方や手先の巧緻性を支援していきます。			
	認知・行動	・視覚、聴覚、触覚等の感覚を活用して認知機能の発達を促すような支援を行います。 ・個々の発達特性に配慮しながら、得た情報を適切に処理できるよう支援を行います。順番表、数の認識等視覚的指示を用いて理解ができるように支援します。			
	言語コミュニケーション	・自分の興味のあることや共有したいことを他者を意識しながら関わるスキルを育みます。また、言葉の幅を広げて伝えることが出来るよう支援します。 ・自発的な発語や絵カードコミュニケーション（PECS）、ジェスチャー等を促しながら場面に応じたコミュニケーションの獲得のための支援を行います。また、語彙を増やしたり、言葉の意味や理解を深めたりできるよう支援を行います。			
	人間関係社会性	・周囲の人と安定した人間関係を形成したり、遊びや集団活動に参加できたりするための手順やルールを理解できるよう支援を行います。			
家族支援	保護者茶話会の開催をし、ご家族の悩みに寄り添っていくとともに保護者同士の繋がりを促していきます。	移行支援	ご家族の意向を聞きながら相談できる環境を提供します。保育園等への移行や併行通園等をサポートできるように取り組みます。また、就学に向けた取り組みやサポートブックの作成を行い、情報共有をし安心して通うことが出来るように取り組みます。		
地域支援・地域連携	教育、医療など関係機関と連携し情報交換や支援会議を通して幼児、児童の将来を見据え、一貫した支援ができるよう支援します。	職員の質の向上	施設内研修（発達支援の理解、構造化を用いた支援、PECS、SST、応用行動分析）外部研修		
主な行事等	季節に合わせた行事を行います。（交流遠足、秋祭り、クリスマス会等）				